

1. 木質バイオマス関連情報

■長野県高森町、今年3月より町内の「信州たかもり温泉御大の館・湯が洞」にて稼働を開始した、チップ乾燥サイロ付き木質バイオマスボイラ(300kw×2台)の視察案内をサイトに掲載。長野県の「平成29年度地域主導型自然エネルギー創出支援事業(ソフト事業 可能性調査)」および環境省の「平成30年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(第1号事業)」の採択事業。導入されたボイラは、(株)WBエナジー(東京)が取り扱うKWB社(オーストリア)製ボイラ。視察は「半日コース」と「一日コース」が用意されており、地元企業の(株)信州のもりが案内する。希望者は、事前に下記サイトより予約が必要【高森町：2019/07/01、(株)WBエナジー】

<http://www.town.nagano-takamori.lg.jp/boshu/4747.html>

<http://wbenergy.co.jp/case/>

■気候変動や森林保全に取り組む環境団体が、バイオマス発電に関する共同提言を発表(7月16日)。

提言を出したのは、環境エネルギー政策研究所(ISEP)(東京)、気候ネットワーク(京都)、国際環境NGO FoE Japan(東京)、地球・人間環境フォーラム(東京)、熱帯林行動ネットワーク(JATAN)(東京)、バイオマス産業社会ネットワーク(千葉)。提言では多くのバイオマス発電燃料が化石燃料と同様もしくはそれ以上のGHGを排出していること、さらに、燃料の栽培時に土地利用変化(熱帯林開発、泥炭地開発)を伴う場合、GHG排出量が著しく増大していることを指摘。「森林減少・生物多様性の減少を伴わないこと」「大規模な土地利用変化を伴い、森林減少などの影響がすでに指摘されているパーム油や大豆油を使用しないこと」「人権侵害を伴っていないこと」など8つの要件を挙げている【環境エネルギー政策研究所：2019/07/16】

<https://www.isep.or.jp/archives/library/12006>

■(株)サーラコーポレーション(愛知)、愛知県豊橋市に建設した「東三河バイオマス発電所」の竣工式を7月22日に開催。発電所で使用する燃料はPKSや国産間伐材。PKSはマレーシアなどから14万t/年輸入し、間伐材は地元の東三河地域を中心

に静岡県、長野県などからも幅広く調達し、1万t/年使う計画。一般家庭4万世帯分相当の1億5,000万kW時/年発電し、FITを通じて電力会社や新電力に売り込む【日本経済新聞：2019/07/22】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ047629830S9A720C1L91000/?ct=ga>

■エア・ウォーター(株)(大阪)と中国電力(株)(広島)の共同出資会社であるエア・ウォーター&エネルギー・パワー山口(株)が、山口県防府市に建設した防府バイオマス・石炭混焼発電所の営業運転を7月21日に開始したと発表。同発電所の発電規模は11万2,000kW。山口県森林組合連合会から調達する未利用間伐材や、海外から輸入するPKS等の木質バイオマスを、燃料として最大50%程度利用し、年間約8億kWhの発電を予定。FITを活用する計画【エア・ウォーター(株)、日本経済新聞：2019/7/22】

<https://www.awi.co.jp/business/other/news/uploads/d9cf5e7b-b85eea03fad74478defdc41fc8e83d05.pdf>

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ047627440S9A720C1LC0000/>

■北海道電力(株)(北海道)、道内で再生可能エネルギー設備の導入量が増えたことで今後、設備の出力制御を行う可能性が高まったとして、発電事業者に出力制御に向けた準備を要請すると発表。あらかじめ定められた「優先給電ルール」に基づいて火力発電設備の出力抑制や揚水発電設備の運転等による需給バランスの維持に努めているが、今後も再エネ発電設備の導入が継続的に拡大し、将来的にこれらの対策を行ってもなお供給が必要を上回る場合には再エネ発電設備等の出力制御が必要に。現時点では直ちに出力制御の実施が必要な状況ではないが相応の準備期間が必要と想定されることから、バイオマスや太陽光、風力発電などの事業者に、北電からの制御信号を自動処理する機器を設置するか、電話やメールによる北電の指示を受けて手動で出力を落とすようにするかの確認を求める。対象

事業者には書面等で個別に連絡する予定【北海道電力（株）、日本経済新聞：2019/07/22】

https://www.hepco.co.jp/info/2019/1242321_1803.html

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO47625010S9A720C1L41000/?ct=ga>

■水素生産技術の Graforce（ドイツ）、自社の水素生産技術「Plasmalysis」（プラズマ分解）の性能について発表。Plasmalysis は排せつ物などのバイオマスから水素ガス、窒素ガス、水を生成する技術。CO₂ は排出せず、コストは電気分解などの従来手法と比較して 50～60%低い。今日の世界の年間エネルギー需要のほぼ半分に相当する 7 億 2,400 万 t/年の水素を生産可能【時事ドットコムニュース：2019/07/22】

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2019072200437&g=bnw>

■（株）モリショウ（大分）、同社グループの小売電気事業者「日田グリーン電力（株）」（同、以下 HGP）及び発電事業者である「（株）グリーン発電大分」（同、以下 GH0）が、経産省が実施する本年度の「非化石証書トラッキング実証実験」に参加すると発表。これにより、GH0 の FIT 電源に由来する環境価値を証書化した非化石証書に電源種や発電所所在地等の属性情報が付与される。HGP は、GH0 由来のトラッキング付非化石証書を取得し電力と組み合わせることで、環境価値の高い電力メニューを創設し、RE100 に加盟する企業など環境意識の高い需要家への電力供給に活用する。まずは 9 月 1 日よりグループ企業であるモリショウ及び日本フォレスト（株）（大分）に供給する電力にトラッキング付非化石証書を組み合わせ、グループ内で消費する電力を再生可能エネルギー100%とする【（株）モリショウ：2019/07/22】

<http://www.morisho.co.jp/news/detail.php?id=201907220903434870>

■（株）商工組合中央金庫（東京、以下「商工中金」）、（株）ピオクラシックス半田（愛知）が計画するバイオガス発電プロジェクトに対し、碧海信用金庫、知多信用金庫、西尾信用金庫、半田信用金庫と共にシンジケートローンを組成。ピオクラシックス半田は市が掲げる「半田市バイオマス産業都市構想」の事業者として、現在、同市が抱える畜産臭気低減、ごみ減量化、農業振興や担い手確保など、様々な行政課題の解決と地域循環型の次世代につながる街づくりを目指している。発電所の電力

量は 17,340kWh の見込みで、FIT を通じて電力会社に売電する。完成は 2021 年 9 月の予定【商工中金：2019/07/24】

https://www.shokochukin.co.jp/assets/pdf/nr_190724_01.pdf

■（株）トーヨー建設（東京）、7 月 12 日にベトナム国の法人 SOC SON RENEWABLE ENERGY JOINT STOCK COMPANY（以下「ソクスン社」と MOU（基本合意書）を締結。トーヨーグループはかねてより、環境省、在ベトナム大使館等の支援を得て「ベトナム国ハノイ市における分別およびメタン発酵発電による一般廃棄物の有効利用事業」の実現可能性調査を実施してきた。同事業では現地における専門的知見と実績を有するソクスン社と協力し、ハノイ市で発生している一般廃棄物約 6,000 t/日のうち 1,500 t を受け入れ、メタン発酵発電で低炭素社会と持続性社会発展の実現を目的としている。また、同日 VIETNAM NATIONAL UNIVERSITY OF AGRICULTURE（以下「ベトナム国家農業大学」とも MOU を締結。メタン発酵で生成される消化液を有効活用して「廃棄物からの新しい有機肥料商品の開発」「新しい有機肥料の製造と商業化」「ベトナムにおける農作物用の新しい肥料のガイドライン構築」等の共同研究を進める【（株）トーヨー建設：2019/07/25】

<http://toyo-group.com/enefarm/>

■JFE エンジニアリング（株）（東京）、子会社が運営する新田清掃センター（新潟）で人工知能（AI）やビッグデータを活用し、約 2 週間運転員の介入なく焼却炉の完全自動運転を実現。ごみ焼却発電は燃料となるごみの水分量や形状が異なるため、燃焼温度の維持が難しい。運転員の経験が重要で、ごみの投入量を変化させて温度を維持するが、後継者不足の問題もあり、プラントエンジ社は自動運転技術の開発に力を注いでいる。さらに自動運転技術は応用することでバイオマス発電などのプラントにも適用が可能。そこまで技術が高まれば、国内だけでなく、海外での販路拡大も見えてくる。各社は実証から早期に実用段階に入るべく、研究を続けている【電気新聞：2019/07/26、JFE エンジニアリング（株）：2019/07/18】

<https://www.denkishimbun.com/sp/43289>

<http://www.jfe-eng.co.jp/news/2019/20190718093849.html>

■シーメンス（株）（東京）、日鉄エンジニアリング（旧・新日鉄住金エンジニアリング）（株）から発電出力 75 MW 級の蒸気タービンと発電機、周辺機器を兵庫県に営業運転開始予定の広

畑バイオマス発電所向けに受注。同発電所は大阪ガス（株）（大阪）と100%子会社である（株）ガスアンドパワー（大阪）が、九電みらいエナジー（株）（福岡）との共同出資による事業運営会社「広畑バイオマス発電（株）」を設立し、発電容量約7.5万kWのバイオマス専焼発電所建設を決定しているもの。燃料は輸入と国産の木質チップおよびPKS。2023年8月運開予定【シーメンス：2019/07/26、大阪ガスグループ：2019/03/07】
<https://new.siemens.com/jp/ja/kigyuu-jouhou/press/pr-skk-20190726.html>
https://www.osakagagas.co.jp/company/press/pr_2019/1277447_40360.html

■北海道の針葉樹、広葉樹混交林で過去40年間に針葉樹の割合が減少。北海道大学北方生物圏フィールド科学センターと森林総合研究所の共同研究グループは地球温暖化による気候変動の影響とみている。北大によると、共同研究グループは北海道音威子府村にある北海道大学中川研究林の箴島、パンケの両原生保存林17.5haで森林の樹木1本ずつを個体認識し、約40年間モニタリング調査を実施。その結果、夏の気温上昇と降水量の増加が広葉樹の生育に良い影響を与える一方、トドマツ、エゾマツ、アカエゾマツなど針葉樹に悪影響を及ぼしていることが判明。2004年の台風の影響も針葉樹の方がより深刻だった。共同研究グループは気候変動が森林の姿を改変し、針葉樹の割合を年々、低下させているとみている。今後も気候変動が続けば、寒冷な気候に適応した針葉樹が消え、針葉樹と広葉樹の混交林が広葉樹の森に変わりかねないとしている【大学ジャーナル ONLINE：2019/07/30】
<https://univ-journal.jp/27025/>

■旅行大手エイチ・アイ・エス（HIS）が宮城県角田市梶賀で着工したバイオマス発電所（出力約4万1,000kW、2020年3月運開予定）を巡り、国際環境NGO「FoE Japan」などが国会内で記者会見（7月30日）。「燃料のパーム油による発電は熱帯林の破壊と大量の温室効果ガスをもたらす」として、建設中止を求める約15万筆の署名を同社に送ったと発表。マレーシアやインドネシアではアブラヤシの農園拡大で環境が悪化。栽培や加工、輸送の各段階を含めると石炭火力発電を上回る温室効果ガスを排出するとの試算から「パーム油発電は再生可能エネルギーとして不適切」と主張。5月上旬に始めた署名は大半がドイツや米国など海外から寄せられ、国内は約3,100筆という。

事業主体のHISスーパー電力（東京）は、「署名は真摯に受け止める」が、計画通り工事を進める方針【河北新報：2019/07/31】
https://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201907/20190731_13040.html

■北海道下川町内でデザイン事務所を営む寺田真治さんが、町の木質バイオマスボイラの焼却灰を活用した染色屋「採色兼美（さいしょくけんび）」を立ち上げ。寺田さんは国の環境未来都市に指定されている町の取り組みに関心があり、2004年から町が導入した工場廃材や間伐材の一部を活用した木質バイオマスボイラに着目。仕事の傍ら灰の利活用に向け調査を続け、3年間で草木染の手法で染色した生地の変色を防ぐために使用する媒染剤として灰が活用できることが分かり、今年6月、自宅庭に染色屋を設置。染料は地元植物を煮出して作る予定で、町産フルーツマトの葉と茎から薄い黄色、白樺の樹皮からはピンク色など計6色の染色に成功。来春からの染め物販売を目標に、インターネットによるクラウドファンディングで研究費を募っている【北海道新聞：2019/08/01】
<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/330670/>

■千葉商科大学（千葉）、キャンパスで使う電力の全量を自前の再生可能エネルギーへ。千葉商大は環境保全活動の一環として、発電容量2,450kWのメガソーラーを2014年に開設し、発電した電気を東京電力系に販売している。キャンパスで使う電気は東電などから調達しているが、メガソーラーでつくられたものかどうかは特定できなかった。8月以降はメガソーラーが発電した電気は東電を経由し、みんな電力（株）（東京）に供給。千葉商大はみんな電力から電気を調達する。みんな電力にはブロックチェーン（分散型台帳）技術で電気の発電元を特定できるシステムがあり、メガソーラーでつくった電気を確実にキャンパスへ供給できるという。不足分は他の事業者が風力やバイオマスで発電した電気を購入する予定【日本経済新聞：2019/08/01】
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO48066940R00C19A8L71000/>

■竹林面積全国5位、タケノコ生産量同3位の熊本県に竹を利活用する企業グループが誕生。竹を集めるバンブーフロンティア、竹で新材をつくるバンブーマテリアル、竹の廃材などでバイオマス発電をするバンブーエナジーの3社は建設会社など

が出資し「竹を包括的に利用する連携事業」として 2017 年に誕生。工場は南関町にあり、昨年から一部操業を始めている。竹は九州に多い孟宗竹。タケノコ生産で間引きしたものや、放置竹林の整備で出るものが持ち込まれ、買い取り価格は 8~10 円/kg (市町村の補助金を含む)。3 年後のフル稼働で 2 万 t/年の調達を計画。枝葉などの廃材は「エネルギー」の国内初の竹のバイオマス発電施設の燃料となる。竹をボイラで燃焼させると炉内にクリンカを生成するが、バークを約 7 割混ぜることで解決。最大発電量は約 1MW。マテリアル工場を使い、フル稼働で使用電力の 3~4 割を賄う。ボイラで加熱した熱媒油はマテリアル工場内に配管して、建材のプレスなどに使用。荒廃が進む竹林の整備につながると期待される【全国農業新聞：2019/08/02】

<https://www.nca.or.jp/shinbun/regional-activation/5591/>

■東京都、8 月 1 日から都庁本庁舎で使う電力の約 8 割をバイオマス発電による再生可能エネルギーに。切り替えたのは都庁の第 1、第 2 本庁舎と都議会議事堂で 1 年間に使う量の約 8 割に当たる電力 3,000 万 kWh。価格と環境面の両方を評価する入札を 6 月に実施し、日立造船 (株) (大阪) が 6 億 3,200 万円で落札。日立造船は都内外の清掃工場から廃棄物発電による電力を買い取っており、そのうちバイオマス分を都庁に供給する【中日新聞：2019/08/05】

<https://www.chunichi.co.jp/s/article/2019080501001244.html>

■(株) パワーエイト (三重) が三重県紀北町上里地区に計画している小型の木質バイオマス発電事業を巡り、事業を進めたい事業者と反対する住民の姿勢が平行線。同発電事業は発電出力 450kW、熱出力 670kW、総工費 5.5 億円。チップ工場を併設し、同社が県内や奈良、和歌山に所有する約 200 万㎡の山林の間伐材 (5,000t/年) をチップにし、いぶした際に出るガスを使って発電する。事業に反対する住民側は「所有する山林から上里地区まで距離があり、事業が数十年も継続して行える見通しが見えない」「森林組合など地元木材関係者から一社も取引許可が得られていない」などを反対理由に挙げている。しかし森林組合おわせによると、尾鷲市、熊野市、紀北町の一部の未利用材は同町にあるチップ工場でチップにされ、年間 15,000t が多気町にあるバイオマス発電事業に使われているという。森林組合はパワーエイトから材料の供給を依頼されたが、「多気町のバイオマス発電に納めているので安定した供給ができな

い」との理由で断っている。3 地区の区長は事業撤退に協力を求めようと尾上町長に要望書を提出し、現在は集めた反対署名と事業撤退を求める嘆願書を事業者に送る準備を進めている。一方同社は「町内の木を上里に運べば運賃もかからない。地元根付いて事業をやっていききたい」と説明。「住民の理解が得られないまま進めようとは思わない」と話すと、「これまで投資してきたのでやめれば損失が出る。(経産省から) 許可が下りれば、事業を進める予定」と言っている【伊勢新聞：2019/08/05】

<https://www.isenp.co.jp/2019/08/05/34875/>

■経産省資源エネルギーの再エネコンシェルジュ (運営会社：三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング[株])、7 月 1 日から 26 日まで公募していた「令和元年度地域共生型再エネ事業化形成支援事業 (再エネ事業化形成支援プログラム)」の審査結果を公表。34 事業が支援先として決定。そのうちバイオマスが関係すると思われるものは、次の通り；(一社) えこえね南相馬研究機構の「南相馬コミュニティバイオガスのモデルづくり」、(株) イースリー「自家消費型メタン発酵ガス発電事業」、和歌山県橋本市「橋本市生ごみ、有機性汚泥のメタンガス発電施設整備事業」、島根県津和野町「津和野町木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入事業」、大分県臼杵市・ワタミファーム&エネルギー (株)「小規模木質バイオマス発電に伴う熱の有効活用事業」、大分県佐伯市「佐伯市木質バイオマス発電事業」、大分県佐伯市「下水汚泥等を活用したバイオガス製造事業」、(株) 日奈久バイオマス「地域共生型木質バイオマス熱電併給事業」[再エネコンシェルジュ：2019/08/14]

https://renewable-energy-concierge.go.jp/program2019_01_02.html

■経産省、8 月 5 日に第 17 回総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会/電力・ガス事業分科会再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会を開催。2020 年度末までに行われる FIT 制度の抜本見直しと再エネ政策の再構築に向けて、論点ごとに、これまでの議論の方向性を取りまとめるとともに委員等からの主な指摘事項を整理した、「中間整理 (第 3 次) (案)」を基に議論。中間整理案は、同制度から自立が見込める電源 (競争電源) と、地域事情・特性を考慮し政策支援を行う電源 (地域電源) を明確に分けたのが最大の特徴。FIT の抜本見直しは法制定で定められたもの。ただ一部からは、見直しに伴い小水力やバイオマスなど地域電

源への支援が縮小されるとの不安もあった。今回、「地域電源」について「エネルギー政策以外の分野との共生を図るポテンシャルが見込まれる電源」と明記。バイオマス発電についても、「地域の持続可能な開発に貢献する価値が見込まれる。エネルギー分野以外の適切な行政分野との役割分担を考えていくことも必要」とした。中間整理案に対する大きな異論は出なかったが、必要な修正を加えたものを、8月20日付で再度公表している[経産省：2019/08/05、2019/08/20、建設通信新聞：2019/08/06]

https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/saisei_kano/017.html

https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/saisei_kano/20190820_report.html

<https://www.kensetsunews.com/archives/352058>

■ヤンマー（株）（大阪）のグループ会社であるヤンマーエネルギーシステム（株）（大阪）、廃棄物を活用したバイオマス発電やエネルギーマネジメントシステムなどのエネルギーソリューション事業を強化し、本格展開を開始すると発表。具体的には、エネルギー機器を効率的に制御し省エネやコスト削減に貢献するエネルギーマネジメントシステムや、これまで処理問題を抱えていた「食品残さ」や「下水汚泥」、「廃食油」といった廃棄物を燃料として有効活用するバイオマス発電の導入を推進し、顧客のエネルギー課題解決を支援する。再生可能エネルギーの導入や省エネにより、CO₂ 排出量削減などの環境保護、SDGs の達成にも貢献する【ヤンマー（株）：2019/08/08】

<https://www.yanmar.com/jp/news/2019/08/08/58648.html>

■北海道室蘭市港北町の室蘭港中卯埠頭で、東南アジア原産のPKSを燃料に発電する国内最大級となる「室蘭バイオマス発電所（発電規模：7.49万kW）」の外装がお目見え。工事の進捗率は約7割で、高さ約55mの発電所の心臓部・循環流動層ボイラの外装が見え始めた。同発電所は、JXTGエネルギー（株）（東京）と日揮（株）（神奈川）が室蘭バイオマス発電合同会社を設立し整備を進める、PKSを100%使う国内初の発電所。11月末の工事完了を見込み、12月から総合試運転、来年5月の商業運転開始を目指す。燃料となるPKSの調達について、同社

は「安定確保に向け順調に契約が進んでいる」としている【室蘭民報：2019/08/14】

http://www.muromin.co.jp/murominn-web/back/2019/08/14/20190814m_01.html

■フィリピンのアポイティス財閥の電力部門アポイティス・パワーのルビオ最高財務責任者が、バタガス州リアン町に所有するバイオマス発電所の設備売却について、仲介者を通じて売却先を探していることを明らかに。同社はバイオマス発電所を2017年後半に操業を停止した後、2018年5月から設備売却先を探し始めたが、まだ買い手が見つかっていなかった【まにら新聞：2019/08/15】

http://www.manila-shimbun.com/series/econo_trend/series246465.html

■神奈川県横浜市、7月8日～22日まで公募していた「Zero Carbon Yokohama の実現に向けた未利用な都市型バイオマス『未利用油脂』を活用した地産地消型発電事業の実現可能性調査業務委託」の中止を発表。同事業の実施要領第7条に書かれた停止条件（環境省の「平成31年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金〔脱炭素イノベーションによる地域循環共生圏構築事業〕」の申請が満額で採択されなかった場合は、本プロポーザルに係る一切の事項は無効となる）に当たるとして、当該業務の一切を中止に。応募者数については不明【横浜市：2019/08/22】

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/nyusatsu/kakukukyoku/2019/itaku/ondan/ondankapropo201907.html>

■NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク（BIN）（千葉）、インターネットサイト版「バイオマス白書2019サイト版（本編）」をオープン。「バイオマス発電をめぐる制度の変更と課題」や「バイオマスの持続可能性」といったバイオマス利用をめぐる現状と課題に関するトピックや、2018年の国内外の動向などについてまとめられている。ダイジェスト版（A4版フルカラー28pの小冊子）の方も1冊200円（送料・税込）で注文受付中【NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク：2019/8月】

<http://www.npobin.net/>

2. ペレット関連情報

■アンドリッツ AG(オーストリア)、東洋エンジニアリング(株) (千葉)より北海道のバイオマス発電所向けに循環流動層(CFB)ボイラおよび排ガス処理装置を受注したと発表。同社が日本市場向けに CFB ボイラを受注するのは今回で 5 度目。発電所はシンエネルギー開発(株)(群馬)と(株)奥村組(大阪)が設立した特別目的会社「石狩新港エネルギー発電合同会社」が事業主体となって、北海道石狩市の石狩湾新港工業団地内に建設するもの。発電出力は 51,500kW、年間想定発電電力量は約 3.6 億 kWh (一般家庭 12.1 万世帯分に相当)。燃料は輸入木質ペレットと PKS。既に FIT 認定を受けており、全量を北海道電力に売電する計画。2019 年 11 月着工予定、運開は 2022 年 10 月の予定【Bioenergy International : 2019/07/25、シンエネルギー開発(株) : 2018/12/27】

<https://bioenergyinternational.com/technology-suppliers/fifth-andritz-powerfluid-cfb-boiler-for-a-biomass-power-plant-in-japan>

<http://www.n-e-d.net/plant/ishikari.html>

■東京産業(株)(東京)、新規事業の PKS 調達第 1 船が愛知県 の衣浦港に入着(7/8)したとプレスリリース。同社は発電所の建設・保守メンテナンス・消耗品供給でこれまで実績を重ねてきたが、燃料供給にも参入し、中期経営計画に掲げる「エネルギービジネスへの対応深化」並びに「グローバルビジネスの強化」を実現するとしている。今後は日本のバイオマス発電市場で高まるニーズに応えるべく、東南アジアの海外拠点網を活用し、PKS、木質ペレット等の供給事業を拡大していく予定。今回輸入した PKS は、中部電力(株)完全子会社の(株)シーエナジーとフルハシ EPO(株)による FIT バイオマス発電事業会社「CEPO 半田バイオマス発電(株)」向けで、同社は輸入 PKS の長期供給契約を締結している。CEPO 半田バイオマス発電所(発電能力約 5 万 kW)は本年 10 月商用稼働開始予定【OSR No.381 : 2019/07/31、東京産業(株) : 2019/07/11】

http://www.tscom.co.jp/tscom/koukoku/PKS_20190711.pdf

■2019 年上半年期(1~6 月期)の主要輸入燃料入荷量は、木質ペレットが前年同期比 1.6 倍ほど増加。PKS は小幅減少でほぼ前年並み【日刊木材新聞社 : 2019/08/03】

https://jfpj.jp/mokuzai_news/5774

■丸全昭和運輸(株)(神奈川)、2020 年 3 月期第 1 四半期決算を 8 月 5 日に発表。それによると、売上高は 304 億 4,400 万円(前年同期比 6.8%増)、営業利益は 19 億 7,800 万円(8.4%増)に。そのうち物流事業の売上高は 259 億 8,700 万円(7.6%増)、営業利益は 15 億 9,100 万円(9.6%増)。同事業における貨物自動車運送事業で取り扱いが増加した製品のひとつとして、石炭や木質ペレットが挙げられている。また倉庫業でも、関東地区で木質ペレットや住宅資材の取扱いが増加したとのこと【LNEWS : 2019/08/05】

<https://lnews.jp/2019/08/0805408.html>

■鳥取県米子市大篠津町の和田浜工業団地で木質バイオマス発電事業を計画する米子バイオマス発電合同会社(東京)が 8 月 5 日、現地で発電所の起工式を実施。同社は中部電力(株)(愛知)、東急不動産(株)(東京)、三菱 UFJ リース(株)(東京)、シンエネルギー開発(株)(群馬)の 4 社が共同で出資して設立。東洋エンジニアリング(株)(千葉)が EPC(設計・調達・施工)サービスを受注しており、出力 54.5MW となる「米子バイオマス発電所」を建設する。バイオマス専焼で、北米・オセアニア・東南アジア産木質ペレットと、インドネシアやマレーシア産の PKS が燃料。2022 年 3 月の運転開始を目指す【山陰中央新報 : 2019/08/06、日経 XTEC : 2018/12/07】

<http://www.sanin->

[chuo.co.jp/www/contents/1565054768120/index.html](http://www.sanin-chuo.co.jp/www/contents/1565054768120/index.html)

<https://tech.nikkeibp.co.jp/dm/atcl/news/16/120711767/>

■住友商事(株)(東京)、宮城県の仙台港で進めているバイオマス専焼発電プロジェクトの環境アセスの準備書縦覧を 7 月 17 日~8 月 16 日まで実施。「仙台高松発電所(仮称)」のサイトは宮城県仙台市宮城野区港 4 丁目。発電方式は CFB ボイラと蒸気タービンによる汽力発電で、発電出力は 112MW。主な燃料となる木質ペレットはトレーサビリティが 100%確実な輸入資源(主に北米からの輸入を計画)とし、地域材については地元企業等と連携しつつ東北地域の未利用木材等の活用について検討を進めている。木質ペレット、木質チップ、PKS 併せて約 50 万 t/年利用。木質ペレットは仙台塩釜港に接岸された船舶からアンローダ(燃料荷揚設備)で陸揚げ

した後、数百メートルの距離を粉塵飛散対策を施した密閉型コンベアにて密閉型ドームである燃料貯蔵設備（4万t×2基）に搬送し、一時貯蔵する。さらに、燃料貯蔵設備から発電プラントまでの搬送も、粉塵飛散対策を施した密閉型コンベアを使用して搬送する計画。建設工事は2020年度下期中に着工、2023年度下期より発電所の営業運転を開始予定【OSR NO.382：2019/08/07、仙台市：2019/07/17】

<https://www.city.sendai.jp/kankyochose/kurashi/machi/kankyohozen/kurashi/kankyo/ekyo/jore/takamatu/junbisyo.html>

■（株）山本製作所（山形）、8月2日にASJ TOKYO CELL（東京）にてペレットストーブ「OU（オウ）」の全国販売開始記念イベントを開催。午後的一般展示ではペレットストーブ導入講座に加え、昨年ほか（PS-630F）を購入した神奈川県横浜市の「NAGICOFFEE」のマスターによるトークショーも急遽開催。多くの参加者が来場。（株）新建築社発行の「住宅特集」9月号の「TOPICS」にも掲載されたとのこと。OUは9月上旬出荷開始で予約受付中【山本製作所：2019/08/09】

<http://www.woody-yamamoto.jp/>

■木質廃棄物からバイオマス燃料を生産する地場系イーストウッドエナジー（Eastwood Energy）（ベトナム）が、スウェーデンのセルマーク・グループ（CellMark Group）との間で、日本に輸出する木質ペレットの長期供給契約を締結。これにより、イーストウッドエナジーは2021年以降、最低30万tの木質ペレットを毎年供給する見通し。イーストウッドエナジーによると、日本に輸出する木質ペレットは技術基準を満たしていること、森林管理協議会（FSC）の認証を取得することが必要。同社は今年中に日本と韓国に対し50万t余りのペレットを供給する見込み。両社は長年にわたり協力関係を構築しており、セルマークの輸出量の9割はイーストウッドエナジーから調達している。セルマークによれば、アジアでは韓国が木質ペレットの消費量トップに立っているが、2023年には日本は韓国から首位の座を奪い、2028年には消費量が韓国の2倍に拡大すると予想されている【VIET JO：2019/08/13】

<https://www.viet-jo.com/news/economy/190813005207.html>

■世界最大の木質ペレットのサプライヤーである米エンビバ・ホールディングス、8月6日にミシシッピ州のパスカグ

ーラ港にターミナルを建設すると発表。6,000万ドル超を投じ、300万t/年の木質ペレットを扱えるターミナルを新設。欧州、アジアなどの顧客の需要の高まりに応える狙い。木質ペレットを最大9万tまで貯蔵できる施設で、2020年後半に完工する予定。木質ペレットの生産プラントも併せて新設する【日本海事新聞電子版：2019/08/13】

<https://www.jmd.co.jp/article.php?no=249032>

■新潟県十日町市、今年4月26日（金）に公募していたキナレ明石の湯熱電併給システム整備事業に係る公募型プロポーザルの優先交渉権者を決定し、公表。同事業は、2016年10月に策定した「十日町市バイオマス活用推進計画」に掲げた事業化プロジェクトのひとつとして、木質燃料の利用拡大を目的とする木質バイオマス発電所を整備するもの。具体的には「越後妻有交流館キナレ」敷地内に、木質ペレットを燃料とするガス化発電および熱供給設備を整備し、FITに基づく売電と、併設する温泉施設「明石の湯」への熱供給を行う。8月7日の選定委員会で応募事業者2グループのうち、優先交渉権者に決まったのは「三洋貿易（株）（東京）、大日本コンサルタント（株）（東京）、（株）村山土建（新潟）」のグループ。8月下旬に基本協定を締結し、9月以降に事業契約に向けた準備（ペレット調整など）を行い、20年間の安定した事業運営の見通しがついた段階で事業契約を締結する予定【十日町市：2019/08/14】

<http://www.city.tokamachi.lg.jp/soshiki/ke/01/01/03/1553764218897.html>

■デンマークの不定期船大手ノルデン、木質ペレット大手の米エンビバと6年間のCOA（数量輸送契約）を結んだと発表（8月15日）。ノルデンはエンビバ向けに、2021年から2026年にかけて年130万～150万tの木質ペレットを米国から欧州に輸送する。5万～6万重量t級スープラマックスバルカーを起用する【日本海事新聞電子版：2019/08/19】

<https://www.jmd.co.jp/article.php?no=249164>

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

3. イベント情報 (国内)

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

◎ (一社) 日本エネルギー学会バイオマス部会「2019 年度バイオマス夏の学校」

2019 年 9 月 3 日 (火) ～4 日 (水)

愛媛県内のバイオマス関連施設、製紙工場

<https://www.jie.or.jp/publics/index/472/>

■石炭火力を考える東京湾の会「フィルムデイ&ナイト『チエISING・コーラル』 ～気候危機を止めるため、今ここから出来ること～ (日比谷)」

2019 年 9 月 5 日 (木)

日比谷図書文化館スタジオプラス (小ホール) (東京都千代田区)

<https://nocoal->

tokyobay.net/2019/08/07/190905_filmdaynight_hibiya/

■(国研) 森林研究・整備機構森林総合研究所、他「地域再生シンポジウム 2019 in 岩手持続的な広葉樹利用による地域再生～価値を向上し資源の利用拡大を探る～」

2019 年 9 月 5 日 (木) ～6 日 (金) ※6 日は現地見学会

いわて県民情報交流センター「アイーナ」7 階 (岩手県盛岡市)

https://www.ffpri.affrc.go.jp/thk/documents/sympo_20190905-06.pdf

■大径材強度予測共同研究機関、等「公開シンポジウム『大径材よ、大志を抱け』」

2019 年 9 月 9 日 (月)

北海道大学学術交流会館小講堂 (北海道札幌市)

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2019/20190909ambitious/index.html>

■(株) 新社会システム総合研究所「再生可能エネルギー発電事業と系統利用ルールの最新解説～系統アクセス・工事費負担金・出力抑制・制度改正議論等～」

2019 年 9 月 9 日 (月)

紀尾井フォーラム (東京都千代田区)

http://www.ssk21.co.jp/seminar/S_19311.html

■広島大学バイオマスプロジェクト研究センター「第 77 回広島大学バイオマスイブニングセミナー(第 56 回広大 ACE セミナー)」

2019 年 9 月 9 日 (月)

広島大学東広島キャンパス工学部 110 講義室 (広島県東広島市)

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/52353>

■(株) 新社会システム総合研究所「再生可能エネルギー発電事業と系統利用ルールの最新解説～系統アクセス・工事費負担金・出力抑制・制度改正議論等～」

2019 年 9 月 9 日 (月)

紀尾井フォーラム (東京都千代田区)

http://www.ssk21.co.jp/seminar/S_19311.html

■石炭火力を考える東京湾の会「フィルムデイ&ナイト『チエISING・コーラル』 ～気候危機を止めるため、今ここから出来ること～ (逗子)」

2019 年 9 月 10 日 (火)

逗子文化プラザさざなみホール (神奈川県逗子市)

<https://nocoal->

tokyobay.net/2019/08/07/190910_filmdaynight_zushi/

■(株)シーエムシー・リサーチ セミナー「二酸化炭素削減対策技術～触媒からみる CO2 利用、メタン利用、水素製造、バイオマスの利用技術～」

2019 年 9 月 11 日 (水)

ちよだプラットフォームスクウェア B1F ミーティングルーム 002 (東京都千代田区)

<https://cmcre.com/archives/48534/>

■(一社) 日本木材学会中国・四国支部「日本木材学会中国・四国支部第 31 回(2019 年度)研究発表会 (第 3 回会告)」

2019 年 9 月 11 日 (水) ～12 日 (木)

島根県民会館、研究会交流会は庭園料亭・蓬莱吉日庵（島根県松江市）

www.jwrs.org/wp-content/uploads/2019ChugokuShikokuShibu.pdf

■日報ビジネス（株）「廃棄物・環境セミナーウィーク 2019in 関西」

2019年9月11日（水）～13日（金）
大阪産業創造館 6階会議室E（大阪府大阪市）
<http://www.nippo.co.jp/seminar/wts2019.htm>

■中国地域バイオマス利用研究会、他「基礎からわかる超臨界水ガス化の最先端」

2019年9月12日（木）
サテライトキャンパスひろしま 5階 504 講義室(広島県民文化センター5階)（広島県広島市）
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/52406>

■（国研）森林研究・整備機構森林総合研究所 平成31年度（前期）森林講座「火に負けない木づかい」

2019年9月13日（金）
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所多摩森林科学園（東京都八王子市）
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2019/20190306shinrinkouza/index.html>

■FridaysforFutureTokyo「FFFTokyo グローバル気候マーチ直前イベント！～9/20 マーチを通して私たちが伝えたいこと～」

2019年9月13日（金）
地球環境パートナーシッププラザ（東京都渋谷区）
<https://www.facebook.com/events/366263524309129/>

■ウータン・森と生活を考える会、他「どうなん?!バイオマス発電～パーム油発電ってホントに地域と地球にやさしいの?」

2019年9月13日（金）、14日（土）
9/13：舞鶴西駅交流センター（京都府舞鶴市）
9/14：京エコロジィセンター（京都府京都市伏見区）
<https://hutangroup.org/archives/event>

■（株）新社会システム総合研究所「再生可能エネルギー発電事業への投資の実務～売買・匿名組合出資等～」

2019年9月17日（火）
紀尾井フォーラム（東京都千代田区）
http://www.ssk21.co.jp/seminar/S_19343.html

◎（一社）日本木質ペレット協会「木質ペレットの JAS 化に関する取組と今後の課題 および隣接業界の動向とバイオマスガス化発電に関する勉強会」

2019年9月20日（金）
東京スクエアガーデン 6F 中央区立環境情報センター（東京都中央区）
<https://w-pellet.org/2019/08/19/%e5%8b%89%e5%bc%b7%e4%bc%9a%e3%81%ae%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%81%a8%e7%94%b3%e8%be%bc%e3%81%ae%e3%81%94%e6%a1%88%e5%86%85/>

■NPO 法人農都会議「バイオマスアカデミー第3回 バイオマス熱利用エンジニアリングの成功の秘訣教えます 確実に失敗しないバイオマス熱利用施設/システムの設計・施工方法」

2019年9月24日（火）
東京都港区内のカンファレンス会場を予定
<http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/277>

◎リードエグジビションジャパン（株）「国際バイオマス展（関西展）」

2019年9月25日（水）～27日（金）
インテックス大阪（大阪府大阪市住之江区）
<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■（株）森林再生システム「林業塾 2019」

2019年9月25日（水）～28日（土）
速水林業、他（三重県牟婁郡紀北町海山区）
<http://www.re-forest.com/project/ringyojyuku2019.html>

■経産省、NEDO「カーボンリサイクル産学官国際会議 2019」

2019年9月25日（水）
ホテルニューオータニ（東京都千代田区）

<https://carbon-recycling2019.go.jp/>

■経産省中国経済産業局「J-クレジット制度セミナー2019 in 広島」

2019年9月26日（木）

広島グランドインテリジェントホテル2階芙蓉の間（広島県広島市南区）

<https://www.chugoku.meti.go.jp/event/enetai/190729.html>

◎薪ストーブのお店 KAGURA 勉強会「ペレットストーブを学ぼう」

2019年9月28日（土）

薪ストーブのお店「KAGURA」KJWORKS（内）（大阪府箕面市）

<https://www.maki-stove.osaka.jp/pellet-event/>

◎「明見湖環境フェスティバル 2019」

2019年9月28日（土）

明見湖（山梨県富士吉田市）

<https://ja-jp.facebook.com/asumiko2014>

<http://yamanashiwbc.blogspot.com/2019/06/blog-post.html>

◎札幌市「令和元年度ペレット・薪ストーブ展示会」

2019年9月28日（土）～29日（日）

ジョイフルエーカー屯田店（北海道札幌市）

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/wood/tenjikai/2019_tenjikai.html

■岐阜県立森林文化アカデミー「第4回！林業×IT ハッカソン@森林文化アカデミー『森林管理のためのハッカソン』」

2019年9月28日（土）～29日（日）

岐阜県立森林文化アカデミー多目的室（岐阜県美濃市）

<https://www.forest.ac.jp/events/2019hackthon/>

◎やまがた自然エネルギーネットワーク「再エネフェス in 飯豊町あ～す」

2019年9月29日（日）

町民総合センターあ～す（山形県西置賜郡飯豊町）

http://www.woody-yamamoto.jp/info/wn_102.html

■日本学術会議農学委員会林学分科会公開シンポジウム「林業と建築における木材利用 一川上から川下までの現状と課題一」

2019年9月30日（月）

日本学術会議講堂（東京都港区）

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/279-s-0930.pdf>

■地域創生に資する森林資源・木材の需要拡大に向けた研究開発プラットフォーム、他 合同ワークショップ「地域の木材流通の川上と川下をつなぐシステム・イノベーション」

2019年10月1日（火）

東京大学農学生命科学研究科中島ホール（東京都文京区）

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2019/20191001workshop/index.html>

◎（一社）日本木工機械工業会「日本木工機械展/ウッドエコテック 2019」

2019年10月3日（木）～6日（日）

ポートメッセなごや「名古屋国際展示場」（愛知県名古屋市）

<https://mokkiten.com/>

■NPO 法人農都会議「東北大震災復興支援勉強会 再エネ水素活用で脱炭素社会へ大転換 ～低炭素水素サプライチェーンの構築に向けた技術開発～」

2019年10月5日（土）

港区商工会館2階研修室（東京都港区）

<http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/275>

■福島県「第2回ふくしま植樹祭～ABMORI～」

2019年10月6日（日）

ふくしま県民の森フォレストパークあだたら（福島県安達郡大玉村）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055d/2syokuzusai.html>

■NEDO、駐日デンマーク大使館「NEDO/デンマークエネルギーセミナー2019「再エネ大量導入時代のエネルギーシステム—デンマークの経験を基に系統運用、熱利用、VPP/V2Gの未来を考える—」

2019年10月8日(火)

NEDO分室(東京都千代田区)

https://www.nedo.go.jp/events/AT52_100039.html

■国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 平成31年度(前期)森林講座「放射能に汚染されたシイタケ原木林の利用再開に向けて」

2019年10月11日(金)

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所多摩森林科学園(東京都八王子市)

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2019/20190306shinrinkouza/index.html>

◎薪ストーブのお店 KAGURA 勉強会「ペレットストーブを学ぼう」

2019年10月13日(日)

薪ストーブのお店「KAGURA」KJWORKS(内)(大阪府箕面市)

<https://www.maki-stove.osaka.jp/pellet-event/>

■認定NPO法人環境パートナーシップいわて「バイオマスパワーセミナーVol.3<固体:木質の全般利用など>」

2019年10月15日(火)

アイーナ501会議室(岩手県盛岡市)

<https://wbiwate.jimdo.com/%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%B3%E3%83%88%E6%83%85%E5%A0%B1/>

■びわ湖環境ビジネスメッセ実行委員会「びわ湖環境ビジネスメッセ2019」

2019年10月16日(水)~10月18日(金)

長浜バイオ大学ドーム(滋賀県長浜市)

<http://www.biwako-messe.com/>

■(国研)森林研究・整備機構森林総合研究所「令和元年度森林総合研究所公開講演会『山づくりのために木造建築ができること』」

2019年10月17日(木)

学術総合センター 一橋大学一橋講堂(東京都千代田区)

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2019/20191017ffprilec/index.html>

■NEDO「2019年度NEDO新エネルギー成果報告会」

2019年10月17日(木)~18日(金)※「バイオマス分野」は17日のみ。

パシフィコ横浜アネックスホール(神奈川県横浜市)

https://www.nedo.go.jp/events/FF_100122.html

■福島県「第44回福島県林業祭」

2019年10月19日(土)

福島県林業研究センター(福島県郡山市)、他

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ringyosai/>

◎山梨県林業まつり実行委員会、他「森林のフェスティバル」

2019年10月20日(土)~21日(日)

小瀬スポーツ公園(山梨県甲府市)

<https://www.yamanashi-kankou.jp/kankou/event/tokusanhin-fair.html>

<http://yamanashiwbc.blogspot.com/2019/06/blog-post.html>

■(特非)日本環境倶楽部環境セミナー「『JAXAの地球環境観測の貢献と今後』~宇宙から地球環境を見守る~」

2019年10月24日(木)

(株)NTTデータエグゼクティブセミナールーム(東京都江東区)

<https://www.kankyoclub.or.jp/event/1910-1.html>

■高知県立林業大学校長 隈研吾講演会

2019年10月28日(月)

高知県立美術館ホール(高知県高知市)

<https://kochi-forestry.ac.jp/%e9%ab%98%e7%9f%a5%e7%9c%8c%e7%ab%8b%e6%9e%97%e6%a5%ad%e5%a4%a7%e5%ad%a6%e6%a0%a1-%e6%a0%a1%e9%95%b7-%e9%9a%88%e7%a0%94%e5%90%be%e8%ac%9b%e6%bc%94%e4%bc%9a%e3%81%ae%e3%81%94%e6%a1%88%e5%86%85/>

■(公財)福島県産業振興センター「第8回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア」

2019年10月30日(水)~31日(木)

ビックパレットふくしま(福島県郡山市)

<http://reif-fukushima.jp/>

◎（一社）日本能率協会「Japan Home & Building Show 2019
内、第41回ジャパンホームショー」

2019年11月13日（水）～15日（金）

東京ビッグサイト 西1・2・3・4ホール（東京都江東区）

<https://www.jma.or.jp/homeshow/>

■（一社）日本能率協会「バイオマスエキスポ2019 秋『バ
イオマスエネルギーが導く田園からの産業革命』」

2019年11月20日（水）～22日（金）

東京ビッグサイト西3.4ホール（東京都江東区）

<https://www.biomassexpo.info/>

■日本経済新聞社、他「第1回環境・再エネ・レジリエンス
展気候変動・災害対策Biz2019」

2019年12月4日（水）～6日（金）

東京ビッグサイト[南1・2ホール]（東京都江東区）

<https://messe.nikkei.co.jp/cc/>

■日本経済新聞社文化事業局イベント事業部「エコプロ
2019」

2019年12月5日（木）～7日（土）

東京ビッグサイト西・南ホール（東京都江東区）

<http://eco-pro.com/2018/outline/001304.html>

■（公社）国土緑化推進機構「森林からはじまるエコライフ
展2019」～森と木で拓くSDGsの提案～

2019年12月5日（木）～7日（土）

東京ビッグサイト西・南ホール「エコプロ2019」会場内（東
京都江東区）

[http://eco-](http://eco-pro.com/eco2019/pdf/forest_exhibition_guidance_2019.pdf)

[pro.com/eco2019/pdf/forest_exhibition_guidance_2019.pdf](http://eco-pro.com/eco2019/pdf/forest_exhibition_guidance_2019.pdf)

■（一社）林業機械化協会「2019 森林・林業・環境機械展示
実演会」

2019年12月14日（土）～15日（日）

奥武山公園補助競技場（沖縄県那覇市）

<https://www.rinkikyo.or.jp/>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek
内バイオマス展」【東京展】

2020年2月26日（水）～28日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■日本木材学会「第70回 日本木材学会大会」

2020年3月16日（月）～18日（水）

鳥取大学共通教育棟・とりぎん文化会館（鳥取県鳥取市）

<http://www.jwrs.org/meeting/>

■（一社）日本森林学会「第131回日本森林学会大会」

2020年3月27日（金）～30日（月）

名古屋大学東山キャンパス（愛知県名古屋市）

<https://www.forestry.jp/>

■ISAP2020 日本開催組織委員会「国際応用藻類学会第7回大
会（ISAP2020）」

2020年4月20日（月）～24日（金）

幕張メッセ（千葉県千葉市）

[http://v4.eir-](http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1627880)

[parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1627880](http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1627880)

■日報ビジネス（株）「2020 NEW 環境展」「2020 地球温暖化
防止展」

2020年4月22日（水）～24日（金）

インテックス大阪（大阪府）

<http://www2.nippo.co.jp/stop-ondanka18/>

◎CMT「11th Biomass Pellets Trade & Power」

2020年5月

東京

<https://www.cmtevents.com/main.aspx>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek
内バイオマス展」【関西展】

2020年9月9日（水）～11日（金）

インテックス大阪（大阪府大阪市）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek
内バイオマス展」【東京展】

2021年3月3日(水)～5日(金)

東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■日報ビジネス(株)「2021 NEW 環境展」 「2021 地球温暖化
防止展」

2021年5月

東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.nippo.co.jp/n-expo019/index.htm>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek
内バイオマス展」【関西展】

2021年9月29日(水)～10月1日(金)

インテックス大阪(大阪府大阪市)

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

4. イベント情報(海外)

■Climate Change and Land

2019年9月2日(月)

ストックホルム(スウェーデン)

<https://www.ksla.se/aktivitet/ipcc-climate-change-and-land/>

◎2nd Bioenergy International Conference

2019年9月11日(水)～13日(金)

ポルタレグレ(ポルトガル)

<http://www.bioenergy-conference.com/index.html>

■POWERGEN Asia Conference & Exhibition

2019年9月3日(火)～5日(木)

クアラルンプール(マレーシア)

<https://www.powergenasia.com/en/index.html>

■11th Asia Sustainable Oil Palm Summit

2019年9月12日(木)～13日(金)

ジャカルタ(インドネシア)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=190717&>

■Forest Romania 2019

2019年9月5日(木)～7日(土)

ジジン(ルーマニア)

<http://www.forestromania.com/en/>

■Advanced Biofuels Conference

2019年9月17日(火)～19日(木)

ストックホルム(スウェーデン)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/advanced-biofuels-conference-2/>

■Future Resource 2019

2019年9月11日(水)～12日(木)

バーミンガム(UK)

<http://www.futureresourceexpo.com/>

■Renewable Energy India Expo

2019年9月18日(水)～20日(金)

グレート・ノイダ(インド)

<https://www.renewableenergyindiaexpo.com/>

■13th Carbon Dioxide Utilization Summit

2019年9月11日(水)～12日(木)

カルガリー(カナダ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/co2-canada/>

■BIOGAS CHINA FORUM 2019

2019年9月19日(木)

青島市(中華人民共和国)

<http://www.icesn.com/>

■16th Annual Global Buyers Mission

2019年9月11日(水)～13日(金)

ブリティッシュコロンビア州ウィスラー(カナダ)

<http://www.bcwood.com/events/global-buyers-mission/>

◎International Conference on Biofuels and Bioenergy

2019年9月23日(月)～25日(水)

バルセロナ (スペイン)
<http://www.rsc.org/events/detail/36515/international-conference-on-biofuels-and-bioenergy>

■EXPOBIOMASA 2019

2019年9月24日(火)～26日(木)
バリャドリッド (スペイン)
<https://www.expobiomasa.com/>

■3rd Biomass Trade and BioEnergy Africa

2019年9月25日(水)～26日(木)
アビジャン (コートジボワール)
<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=190921&>

■Comfort Home 2019

2019年9月27日(金)～29日(日)
リガ (ラトビア)
<http://www.comforhome.lv/eng/>

■EFE 2019 - 3rd Trade Fair for Energy Efficiency in Industry

2019年10月2日(水)～3日(木)
クラクフ (ポーランド)
<http://www.efe.krakow.pl/gb/>

◎USIPA 2019 Exporting Pellets Conference

2019年10月6日(日)～8日(火)
フロリダ州マイアミビーチ (USA)
<https://theusipa.org/2019-conference>

■Austrofoma 2019

2019年10月8日(火)～10日(木)
エステルハーザー・フォルヒテンシュタイン (オーストリア)
<http://www.austrofoma.at/en/allgemeine-infos.html>

■The 11th PALMEX Indonesia 2019

2019年10月8日(火)～10日(木)
北スマトラ州 (インドネシア)
<http://www.palmoilexpo.com/conference-schedule.html>

■Argus Biofuels

2019年10月8日(火)～11日(金)
ロンドン (UK)
<https://www.argusmedia.com/ja/conferences-events-listing/biofuels>

■14th Carbon Dioxide Utilisation Summit

2019年10月9日(水)～10日(木)
デュッセルドルフ (ドイツ)
<https://www.wplgroup.com/aci/event/co2/>

■IGEM 2019 - International Greentech & Eco Products Exhibition & Conference Malaysia

2019年10月9日(水)～10月11日(金)
クアラルンプール (マレーシア)
<http://www.igem.my>

■Progress in Biomethane Mobility

2019年10月15日(火)～17日(木)
シュヴェービッシュ・ハル (ドイツ)
<http://www.ibbk-biogas.de/en-gb/conference-biomethane-mobility-oct2019>

■NAEE 2019 - Nigeria Alternative Energy Expo

2019年10月15日(火)～10月17日(木)
アブジャ (ナイジェリア)
<http://www.nigeriaalternativeenergyexpo.org/>

■Argus Biofuels & Carbon Markets Summit

2019年10月21日(月)～23日(水)
カリフォルニア州ナパバレー (USA)
<https://www.argusmedia.com/ja/conferences-events-listing/biofuels-and-carbon-markets>

■International Biomass Congress & EXPO

2019年10月22日(火)～23日(水)
ブリュッセル (ベルギー)
<http://www.bioenergy-news.com/conference/>

■International Biogas Congress & EXPO

2019年10月22日(火)～23日(水)

ブリュッセル（ベルギー）
<http://www.bioenergy-news.com/conference/>

■biofuels international Conference & Expo
2019年10月22日（火）～23日（水）
ブリュッセル（ベルギー）
<http://www.bioenergy-news.com/conference/>

■GLOBAL BIOFUELS SUMMIT
2019年10月22日（火）～23日（水）
シンガポール（シンガポール）
<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=191022&>

■2019 ANNUAL THINK GLOBAL CONFERENCE
2019年10月22日（火）～23日（水）
イリノイ州シカゴ（USA）
<https://thinkglobalconference.org/>

■RENEXPO BIH International trade fair and conference for
Renewables - Environmental protection - Water management -
Energy efficiency
2019年10月23日（水）～24日（木）
サラエボ（ボスニア・ヘルツェゴビナ）
<http://www.renexpo-bih.com/en/conference/conference-program/>

■Argus Biomass Nordics and Baltics
2019年10月29日（火）～31日（木）
コペンハーゲン（デンマーク）
<https://www.argusmedia.com/ja/conferences-events-listing/biomass-nordics-baltics>

■23rd edition ECOMONDO The Green Technology Expo
2019年11月5日（火）～8日（金）
リミニ（イタリア）
<https://en.ecomondo.com/>

◎European Biomass to Power Conference
2019年11月6日（水）～7日（木）
ヘルシンキ（フィンランド）

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-biomass-to-power/>

■5th Power & Energy Tanzania 2019
2019年11月7日（木）～11月9日（土）
ダルエスサラーム（タンザニア）
<https://www.expogr.com/tanzania/powerenergy/>

■Future of Biogas Europe 2019
2019年11月13日（水）～14日（木）
アムステルダム（オランダ）
<https://www.wplgroup.com/aci/event/future-biogas-europe/>

■European Methanol Summit
2019年11月13日（水）～14日（木）
デュッセルドルフ（ドイツ）
<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-methanol-summit/>

■Shanghai International Exhibition on Heating Technology 2019
2019年11月25日（月）～27日（水）
上海（中華人民共和国）
<https://www.heatecchina.com/Heatec19/idx/eng/home>

■BIOGAS Asia Pacific Forum 2019
2019年11月26日（火）～27日（水）
ジャカルタ（インドネシア）
<http://www.icesn.com/>

■Asian Biomass to Power
2019年11月27日（水）～28日（木）
クアラルンプール（マレーシア）
<https://www.wplgroup.com/aci/event/asian-biomass-to-power/>

■Energy from Waste
2019年12月3日（火）～4日（水）
ロンドン（UK）
https://www.smi-online.co.uk/utility/uk/energy-from-waste?utm_medium=www.efw-event.com&utm_source=E-

[090&utm_campaign=bioen](#)

■ALGAEUROPE 2019

2019年12月3日(火)～5日(木)

パリ(フランス)

<https://algaeurope.org/>

■BIOGAS Convention & Trade Fair

2019年12月10日(火)～12日(木)

ニュルンベルク(ドイツ)

<https://www.biogas-convention.com/en/>

■REGEN EUROPE

2020年1月29日(水)～30日(木)

ナント(フランス)

<https://public.message->

[business.com/emailing/25115/1385/r16azivyvmpvfjhjzagfbiigjjzyzsehhe/emailing.aspx?utm_campaign=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_content=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_medium=Emailing+via+Message+Business&utm_source=Message+Business](https://public.message-business.com/emailing/25115/1385/r16azivyvmpvfjhjzagfbiigjjzyzsehhe/emailing.aspx?utm_campaign=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_content=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_medium=Emailing+via+Message+Business&utm_source=Message+Business)

■BIOGAZ EUROPE

2020年1月29日(水)～30日(木)

ナント(フランス)

<https://public.message->

[business.com/emailing/25115/1385/r16azivyvmpvfjhjzagfbiigjjzyzsehhe/emailing.aspx?utm_campaign=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_content=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_medium=Emailing+via+Message+Business&utm_source=Message+Business](https://public.message-business.com/emailing/25115/1385/r16azivyvmpvfjhjzagfbiigjjzyzsehhe/emailing.aspx?utm_campaign=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_content=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_medium=Emailing+via+Message+Business&utm_source=Message+Business)

■BOIS ENERGIE

月日 2020年1月29日(水)～30日(木)

ナント(フランス)

<https://public.message->

[business.com/emailing/25115/1385/r16azivyvmpvfjhjzagfbiigjjzyzsehhe/emailing.aspx?utm_campaign=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_content=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_medium=Emailing+via+Message+Business&utm_source=Message+Business](https://public.message-business.com/emailing/25115/1385/r16azivyvmpvfjhjzagfbiigjjzyzsehhe/emailing.aspx?utm_campaign=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_content=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_medium=Emailing+via+Message+Business&utm_source=Message+Business)

[f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_content=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_medium=Emailing+via+Message+Business&utm_source=Message+Business">f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_content=Emailing+du+mar.+03%2f11%2f2015+%c3%a0+12%3a46%3a30&utm_medium=Emailing+via+Message+Business&utm_source=Message+Business](#)

◎5th Biomass Trade & Power Europe

2020年2月5日(水)～6日(木)

コペンハーゲン(デンマーク)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=200202&>

◎European Pellet Conference 2020

2020年3月4日(水)～6日(金)

ヴェルス(オーストリア)

<http://www.wsed.at/en/world-sustainable-energy-days.html>

■The WORLD SUSTAINABLE ENERGY DAYS 2020

2020年3月4日(水)～6日(金)

ヴェルス(オーストリア)

<http://www.wsed.at/en/world-sustainable-energy-days.html>

◎Biomass Brno

2020年3月31日(火)～4月4日(土)

ブルノ(チェコ共和国)

<https://www.bvv.cz/en/biomass/>

■10th European Algae Industry Summit

2020年4月29日(水)～30日(木)

レイキャビク(アイスランド)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-algae-industry-summit/>

■KWF Tagung 2020

2020年7月1日(水)～4日(土)

ヘッセン州シュヴァルツェンボルン(ドイツ)

<http://www.kwf-tagung.org/kwf-tagung.html>

■POLLUTEC

2020年12月1日(火)～4日(金)

リヨン(フランス)

<https://www.pollutec.com/en/home/>

■Elmia Wood

2021年6月2日(水)～5日(土)

ヨンショーピン(スウェーデン)

<https://www.elmia.se/wood/>

5. 2019年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報

※締切や公募の条件等の詳細は各自自治体にお問い合わせください。

◇: ストーブ

◆: ストーブ・ボイラ共

【福島県】

◇会津美里町「会津美里町ペレットストーブ等購入設置事業補助金」

https://www1.g-reiki.net/aizumisato/reiki_honbun/c592RG00001132.html

【山梨県】

◇甲府市「甲府市クリーンエネルギー機器普及助成金」

<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/kankyohozen/machi/kankyo/shisaku/20130328.html>

【長野県】

◆須坂市「ペレットストーブ等設備導入費補助金」

<https://www.city.suzaka.nagano.jp/contents/item.php?id=5965ae44c2d27>

◇伊那市「伊那市森のエネルギー推進事業補助金」

https://www.inacity.jp/sangyo_noringyo/noringyo/ringyo/mokus-hitsubaomasu/pelletstove.html

◆松川町「森のエネルギー推進事業補助金」

https://www.town.matsukawa.lg.jp/kurashi_tetsuzuki/gomi_kankyo_pet/kankyo_hoshasenkankei/4831.html

◆飯田市「飯田市森のエネルギー推進事業補助金」

<https://www.city.iida.lg.jp/site/ecomodel/2019perextutohojo.html>

◇諏訪市「令和元年度ペレットストーブの購入補助(再募集)」

<https://www.city.suwa.lg.jp/www/info/detail.jsp?id=13099>

【京都府】

◇京丹後市「令和元年度京丹後市自立循環型資源利活用促進支援補助金(第2次)」

<https://www.city.kyotango.lg.jp/top/kurashi/kankyo/4/1/10435.html>

6. 公募等情報(締切順)

◇(公財)日本環境協会「2019年度(平成31年度)二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(再生可能エネルギー・電気・熱自立的普及促進事業)に係る第二次公募」

公募申請受付期間 2019年8月1日(木)～9月3日(火)

<https://www.jeas.or.jp/saiene/outline/2019/02/index.html>

◇熊本県「令和元年度(2019年度)『くまもと県民発電所』事業可能性調査支援事業補助金」

受付期間 2019年7月8日(月)～9月6日(金)

https://www.pref.kumamoto.jp/kiji_24927.html

◇福島県「令和元年度再生可能エネルギー発電設備等導入基盤整備支援事業費補助金(福島県再エネ復興支援事業)(8次公募)」

公募期間 2019年7月10日(水)～9月10日(火)

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/energy580.html>

◇新潟県「令和元年度新潟県地域再生可能エネルギー面的活用促進事業補助金」

募集期間 ～2019年9月13日（金）

<http://www.pref.niigata.lg.jp/sangyoshinko/1356916119227.html>

◇林野庁「SUSTAINABLE FOREST ACTION 次世代型サステイナビリティ事業共創プログラム」

募集締切 2019年9月17日（火）

<https://www.sustainable-forest-action.net/>

◇宮崎県「宮崎県次世代エネルギーパーク協力施設の追加募集」

募集期間 2019年7月29日（月）～9月20日（金）

<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/kankyoshinrin/kurashi/shizen/20190726105055.html>

※県内の施設のみ

◇資源エネルギー庁「出力制御の公平性の確保に係る指針改正案に関する意見公募（パブリックコメント）」

意見・情報受付 2019年8月23日（金）～9月21日（土）

<https://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=620219007&Mode=0>

◇三井物産（株）「三井物産環境基金～未来につながる社会をつくる～2019年度活動・研究助成案件の募集」

応募締切 2019年9月24日（火）

https://www.mitsui.com/jp/ja/sustainability/contribution/environment/fund/application/1229277_7661.html

◇滋賀県「令和元年度滋賀県分散型エネルギーシステム導入加速化事業補助金の募集について」

募集期間 2019年5月21日（火）～9月30日（月）

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/ondanka/304215.html>

◇（公財）緑の地球防衛基金「2020（令和2）年度地球にやさしいカードの助成金受給団体の募集」

申請書類受付期間 2019年8月1日（木）～9月30日（月）

https://green-earth-japan.net/kikin_zyosei.html

◇福島県「【平成31年度公募開始】福島県『再エネ先駆けの地』理解促進事業について」

応募期間 2019年4月17日（水）～9月30日（月）

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/energy144.html>

◇（一社）環境環境共創イニシアチブ「平成30年度補正予算災害時にも再生可能エネルギーを供給力として稼働可能とするための蓄電池等補助金（再生可能エネルギー発電設備への蓄電池導入支援事業）」

公募期間 2019年3月15日（金）～9月30日（月）

<https://sii.or.jp/saigaichikudenchi30r/note.html>

◇（一社）環境共創イニシアチブ「【経産省 ZEH】平成31年度ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業 ZEH+実証事業」

公募期間 2019年7月1日（月）～9月30日（月）

https://sii.or.jp/meti_zeh31/zeh_plus/public.html

◇滋賀県「令和元年度滋賀県分散型エネルギーシステム導入加速化事業補助金の募集について」

募集期間 ～2019年9月30日（月）

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/bosyuu/304346.html>

◇滋賀県「令和元年度滋賀県省エネ設備導入加速化事業補助金」

募集期間 ～2019年9月30日（月）

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/bosyuu/304246.html>

◇滋賀県「平成31年度滋賀県地域エネルギー活動支援事業補助金の募集について」

募集期間 ～2019年9月30日（月）

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/bosyuu/303800.html>

◇（一財）環境イノベーション情報機構「平成30年度及び平成31年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）」

公募期間 2019年9月2日（月）～9月30日（月）

http://www.eic.or.jp/eic/topics/2019/0507_bs.html

◇長野県「平成 31 年度地域主導型自然エネルギー創出支援事業」

・第三次募集 2019 年 9 月 5 日（木）～10 月 3 日（木）

<https://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/tiikisyudou.html>

◇長野県「平成 31 年度自然エネルギー地域発電推進事業の募集について」

・第三次募集 2019 年 9 月 6 日（金）～10 月 7 日（月）

<https://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kurashi/ondanka/shizen/tiikihatuden-suishin.html>

◇宮城県仙台市「低炭素型ボイラー転換補助金交付事業」

申請受付 2019 年 6 月 3 日（月）～10 月 31 日（木）

<http://www.city.sendai.jp/taiki/jigyosha/kankyo/hozen/kogaiboshi/tetanso.html>

◇栃木県「低炭素社会づくり促進事業費補助金」

申請受付期間 2019 年 6 月 3 日（月）～11 月 8 日（金）

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/kouhou/teitansosyakaidukurihojyo.html>

◇環境省「2019 年度（平成 31 年度）『二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業』の公募について」

募集期間 2019 年 4 月 5 日（金）～11 月 29 日（金）

<http://www.env.go.jp/press/106662.html>

◇北海道「新エネルギー導入支援事業（設備導入支援）公募（追加募集）を開始」

公募期間：2019 年 11 月 29 日（金）まで

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/setsuidounyuu.htm>

◇北海道「新エネルギー設計支援事業公募（追加募集）を開始」

公募期間：2019 年 11 月 29 日（金）まで

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/sekkeishien.htm>

◇北海道「令和元年度（2019 年度）地域資源活用基盤整備支援事業費補助金」

公募期限：令和元年（2019 年）11 月 29 日（金）まで

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/kiban.htm>

◇埼玉県「【令和元年度】埼玉県分散型エネルギー利活用設備整備費補助金」

公募期間 2019 年 5 月 27 日（月）～12 月 20 日（金）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0503/bunnsannkata-hozyo.html>

◇広島県「令和元年度広島県省エネ設備導入促進補助金の公募のお知らせ」

受付期間 ～2019 年 12 月 27 日（金）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/31setubihojokin.html>

◇（一社）京都知恵産業創造の森「再生可能エネルギー設備等導入補助事業補助金」

申請受付期間 2019 年 4 月 22 日（月）～2020 年 1 月 31 日（金）

<http://www.kyoto-eco.jp/support/y2019/saiene.html>

◇鳥取県「鳥取県再生可能エネルギー活用事業可能性調査支援補助金」

募集期間 2019 年 4 月 1 日（月）～2020 年 2 月 28 日（金）

<https://www.pref.tottori.lg.jp/195435.htm>

◇神奈川県小田原市「市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金（土地）」

申請書提出期限 2020 年 2 月 28 日（金）

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/citizenparticipation/shoureikin-setubi-t.html>

◇神奈川県小田原市「市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金（認定設備）」

申請書提出期限 2020 年 2 月 28 日（金）

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/citizenparticipation/shoureikin-setubi.html>

◇神奈川県小田原市「市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金（土地）」

申請書提出期限 2020 年 2 月 28 日（金）

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/citizenparticipation/shoureikin-setubi-t.html>

◇神奈川県小田原市「小田原市再生可能エネルギー事業奨励金」
申請書提出期限 2020年2月28日(金)
<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/bounty/Incentivefee.html>

◇京都市「再生可能エネルギー導入支援事業における支援希望団体の募集について」
募集期間 2019年5月15日(水)～2020年2月28日(金)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000251360.html>

◇浜松市「浜松市木質バイオマス設備導入支援事業費補助金」
申請受付期間 2019年7月5日(金)～2020年2月28日(金)
https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-ene/new_ene/mokushitsuhojokin.html

◇兵庫県宍粟市「木質バイオマス燃料製造設備補助金」
受付期間 2019年4月1日(月)～2020年3月16日(月)
<https://www.city.shiso.lg.jp/kurashi/gomishinyokankyo/kankyori-saikuru/1515747829708.html>

◇林野庁「省エネ再エネ高度化投資促進税制」
適用期間 2018年4月1日～2020年3月31日
<https://www.jwba.or.jp/%E6%96%B0%E8%A6%8F%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8-1/%E7%9C%81%E3%82%A8%E3%83%8D%E5%86%8D%E3%82%A8%E3%83%8D%E9%AB%98%E5%BA%A6%E5%8C%96%E4%BF%83%E9%80%B2%E7%A8%8E%E5%88%B6/>

◇京都府「自立型再生可能エネルギー導入等計画の認定及び導入支援制度」
計画認定申請期間 2015年10月1日(木)～2021年3月31日(水)
<http://www.pref.kyoto.jp/energy/documents/ninteiseidogaiyou.pdf>

◇東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」
事業期間 2014年度～2023年度
http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/current.html

◇高知県「高知県木質資源利用促進事業費補助金」
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019022200068.html>

◇高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

◇高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」
http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

◇高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」
http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html#e000000030

◇栃木県「栃木県環境保全資金(省エネ設備等の導入)」
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyou/ondanka/syouene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

◇徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

◇奈良県「新エネルギー等対策資金」
<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>

※融資制度

◇(公財)日本環境協会「2019年度(平成31年度)環境配慮型融資促進利子補給事業」
https://www.jeas.or.jp/activ/prom_23_00.html

※融資制度

◇横浜市「よこはまプラス資金(環境・エネルギー対策)」
<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/plus/taisyou.html>

※融資制度

◇千葉県「環境保全資金（制度全般事業認定）」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyuuukankyou/ne/shien-jigyousha.html>

◇千葉縣市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittjgaido.html>

◇千葉県南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機設置費等補助金」

<http://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

◇高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html

◇「NEDO 再生可能エネルギー技術白書（第二版）の改訂に係る調査」に係る公募について（予告）

公募開始予定 2019年9月上旬

https://www.nedo.go.jp/koubo/FF1_100271.html